フレッシュ藤岡

「藤岡民報」中沢秀平活動報告版
第4号（2016年12月）

連絡先:松本潔 藤岡市中大塚401－12
☎0274－22－4242

市の国保対応を衝く

中沢議員 9月議会

藤岡の市政でいつも感じるのは、大金を投じる大型事業には熱心であっても、中小零細業者と一般市民に対しては冷たい姿勢だということです。中沢議員は常にこの認識のもとに、議会活動を行っています。

9月議会では、こうした市の対応の典型ともいうべき国保の問題を取り上げました。

最大の問題点は「資格証」の発行率が県内十二市でダントツ高いということです。市の国保税は県内でも低い水準（下位二位）なのに、その滞納世帯の率は県内でもトップクラス（四位）です。これでは受診抑制、健康破壊につながりかねません。機械的に「資格証」では解決になりません。

市は国保対応を全面的に見直すべき、そして当面は、減免措置の徹底と国保税の引き下げをと、強く市に要求しました。

また中沢議員は、9月議会での昨年度の市の決算認定（全13本）について、一般会計等3本は反対（一名のみ）しました。

次の12月議会では藤岡総合病院入院病棟の跡地問題と、中学校の自衛隊での職場体験問題を取り上げる予定です。

安倍改憲は食い止められる

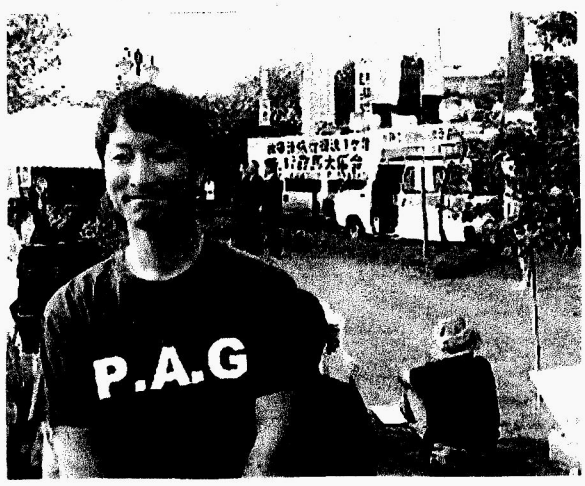
内藤講演—藤岡九条の会

10月29日、内藤真治さんを招いてその名調子のもと、憲法学習会を開きました。

いわく、安倍氏を先頭に改憲派は強大で多数なこと、彼らは外堀を埋めるように次々と巧妙な改憲の手を打ってきていること、しかしそれらは、ことごとく国民によって論破されていること、結局は大義がないし、デマゴーグだからだと解明してくれました。なお参加は60名でした。

＝開会あいさつをする中沢さん＝

中沢さん、戦争する国にするなと、若さでフル回転



右は「9．17」の戦争法強行採決1ヶ年群馬大集会（1200名）にPAGの一員として、左はおなじみ藤岡九条の会の街宣、四

「九条の会」看板、追加設置

9月21日に市内3カ所に「藤岡九条の会」の立て看を追加設置しました。写真は上栗須交差点の南東角のものです。ぜひご覧ください。これで立て看は合計13カ所となりました。皆さんのカンパのおかげです。さらに設置できる場所がありましたらお知らせください。

また大看板3枚も健在でアピールしています。

共産党のつどい（11/20）
―市政と日本の未来を語り合う

中沢議員より県内十二市の歳入・歳出の一覧表が配られ、藤岡市の問題点、特に歳出での市民に冷たい姿勢が語られました。また学校へのエアコン設置と住宅リフォーム助成制度実現という成果も語られました。その後活発に意見交流しました。

＝当日は松島さんも思いを語ってくれました＝

松代大本営跡の見学

中沢　秀平

長野県松代町には、太平洋戦争の本土決戦に備えて掘られた壕があります。沖縄戦はこの壕を掘る時間稼ぎに戦われたとも言われています。大本営司令部として使おうとしたもので、過酷な工事が9カ月にも及び、終戦の日まで続けられました。

太平洋戦争は多くの悲惨な犠牲を伴いながら続けられましたが、松代大本営はその象徴ともいえるものではないでしょうか。日本は戦争によって東京大空襲や沖縄戦、原爆投下など数多くの被害を受けました。しかし忘れていけないのは加害の事実です。自衛という「大義」のために多くの国民や外国人が戦争に巻き込まれました。その責任を取ろうともせずに、権力者が保身のために作らせたのがこの壕です。公開されてはいますが、山間の小さな町のはずれに隠されています。壕は犠牲者の苦労虚しく、実際には使われずに終戦を迎えました。戦争の愚かさを伝えていくため、より広く知られてほしいと思います。

＝総延長約６ｋｍの壕の入口＝